

2026年3月3日
株式会社レボインターナショナル

大阪府守口市と連携し
家庭系廃食用油の回収及びバイオディーゼル燃料等に再資源化する取組を開始

大阪府守口市（市長：瀬野憲一、以下「守口市」）と株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「当社」）は、バイオディーゼル燃料等の原料となる使用済み食用油（以下「廃食用油」）の資源化促進を目的として、「廃食用油回収促進に係る持続可能な社会の構築に向けた連携協定に関する協定」（以下「本協定」）を2026年2月5日に締結しましたのでお知らせいたします。

また、守口市役所において、瀬野憲一市長ご出席のもと、本協定の締結式を執り行いました。



協定締結式の様子（左から、当社の立田真介炭素循環推進部課長、守口市の瀬野憲一市長）

【主な連携事項】

- (1) 家庭系廃食用油の回収及び促進に関する取組
- (2) 廃食用油を用いたバイオディーゼル燃料等の製造・利活用に関する取組
- (3) 本事業の周知・情報発信に関する取組
- (4) 回収量やリサイクル状況等の報告・情報共有
- (5) その他、本協定の趣旨を実現するために必要な事項

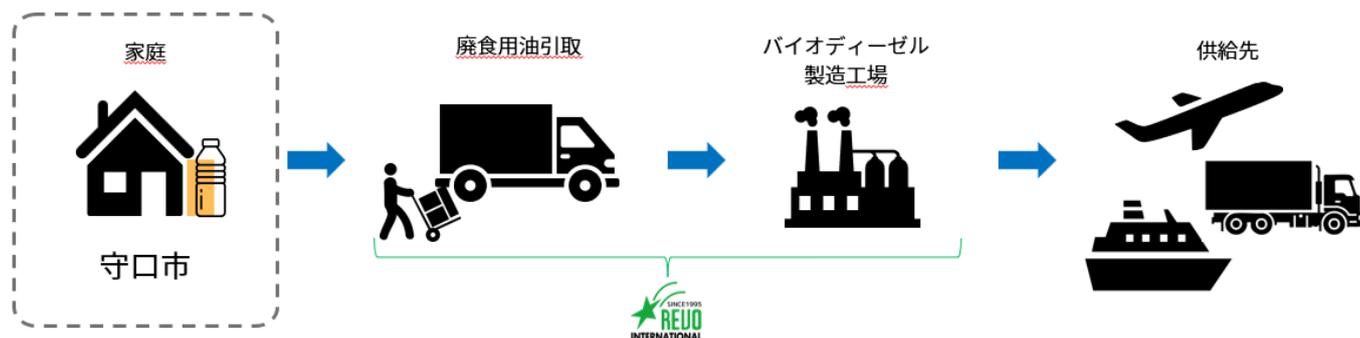
【具体的な取組】

当社は現在、京阪百貨店守口店内に回収ボックスを設置しており、今後も市民の皆様からの廃食用油の回収を継続してまいります。

本協定に基づき、市民の方により京阪百貨店守口店に持ち込まれた廃食用油は、当社が収集し、バイオディーゼル燃料製造工場にて、バイオディーゼル燃料の原料として再資源化されます。

守口市は今後、本事業の市民への周知、市内回収拠点の拡大の働きかけを通して、市民の方が利用しやすい環境を整えます。

本取組は、市民一人ひとりが日常生活の中で脱炭素に貢献できることを実感できる身近な活動であり、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「カーボンニュートラル」の実現に向けて、市民の皆様のご協力のもと、脱炭素社会および資源循環型社会の実現を目指してまいります。



・株式会社レポインターナショナルについて

当社は 1999 年の創業以来、京都を拠点に、廃食用油をはじめとする廃棄資源を原料としたバイオ燃料化技術の研究開発および供給事業を展開し、資源循環型社会の実現に取り組んできました。

原料調達から製造、販売までを一貫して手がけるサプライチェーン体制を構築し、地域資源を活用した持続可能な社会づくりに貢献しています。

近年のバイオエネルギー需要の拡大を見据え、安定供給体制の強化を目的に、原料生産の一環としてジャトロファ栽培に関する実証事業にも取り組んでいます。

さらに 2025 年には、CO₂排出量の大幅な削減が期待される SAF (Sustainable Aviation Fuel : 持続可能な航空燃料) の国内生産を目指し、愛知工場を竣工しました。現在、国際認証である ASTM の取得に向けた取組みを進めています。

今後も地域と連携し、地産地消型の資源循環を推進するとともに、再生可能エネルギーの供給拡大に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社レポインターナショナル

コーポレートサービス部 奥村

Mail : revo-pr@e-revo.jp